

第 15 回南丹市環境審議会 議事録

日 時	令和元年 10 月 15 日(火) 14 時 00 分～15 時 40 分
場 所	南丹市役所 3 号棟第 4 会議室
出席者	【委 員】 <出席> 丹羽英之会長、小中昭副会長、宮田洋二委員、芦田美子委員、 山内富美子委員、森雅彦委員、山内守委員 以上 7 名 <欠席> 宇野齊委員、太田喜和委員 以上 2 名 【事務局】 (南丹市) 市民部 弓削部長 市民環境課 中島課長、平井係長 (委託事業者) 株式会社サンワコン 吉川、川嶋

1. 開 会

- ・会議成立の報告(委員 7 名出席)
- ・市長あいさつ

2. 第 2 次南丹市環境基本計画の策定に係る諮問について

- ・市長から会長へ諮問書
- ・会長あいさつ
- ・事務局による確認事項
 - ・会議の録音と公開の了解
 - ・作業担当者出席の了解
 - ・資料の確認(資料 1～資料 3)

3. 議事

1) 第 2 次南丹市環境基本計画の概要等について

【会長】

これから環境基本計画について議論が始まりますが、先ほど言いましたように、環境基本計画というのは全国同じようなことを書いており、今まではそれでどうにかなっていましたが、この先、環境の話はそれでは済まないことになってきているように感じています。私も関わっているんですが、隣の篠山市では毎回委員が WS 形式で付箋を持って議論しています。ここでも何か実のある、次につながるようなことを計画していけたらと思います。

それでは、『 1) 第 2 次南丹市環境基本計画の概要等について 』の説明を事務局よりお願いします。

《事務局説明》

《質疑応答》

【会長】

説明がありましたが、今後の進め方等について、何か意見、質問等あればお願いします。

【委員A】

2枚目の策定スケジュールについて、年明けの1月には市民意見の反映ということで第1回のWSが予定されていますが、このWSの枠組みについて、こういった構成で、どれくらいの参加者を考えておられますか。

【事務局】

第1回のWSの構成や内容について、詳細に決まっているわけではありませんが、幅広い層に参加を呼び掛けていきたいと考えています。また、南丹市の1箇所での開催では遠方の方が参加しにくくなると思いますので、旧町毎に日程と会場を設けて、各1回、計4回のWSを開催したいと考えています。市長の発言にもありましたが、8月に小中学生を対象とした市長と環境について語る会があり、小中学生が自分の考えをしっかりと述べる様子も見ていますので、学生にも参加いただければと考えています。

【会長】

1回目と2回目のWSは目的が違って、1回目は4町でそれぞれ開催して、地域の環境の現状やそれをどうしていきたいかについての方向性を地域の方と話し合うということですか。

【事務局】

そのとおりです。

【会長】

審議会のスケジュールについて、今日が第1回目で、3月に予定されている第2回目は、アンケートや第1回WSの結果等について説明を受けて、具体的に計画の中身について議論していくのは第3回目以降ということでしょうか。

【事務局】

はい。第2回目の会議では、アンケート調査の結果と第1回WSの結果等について報告し、そこで意見をいただいて、計画素案につなげていくという会議にしたいと考えています。

【委員B】

冒頭に会長がおっしゃったように、過去のきまりやデータをそのまま引きずっていたら、専門家は想定外とばかり言うが、もう少し具体的に南丹市の環境基本計画の骨子とかビジョンとかを検討できないかと思います。私は地球温暖化防止活動をしています。先ほどから出ているSDGsを柱に持ってきて、それについての考え方や市民の意見を、ビジョンやマインドにしていけないと上手くまとまらないと思います。そのような方向でいって欲しいと考えますが。

【会長】

それは、次の令和2年度の第3回時には事務局案が出てきているという理解しますが、その前に議論がしたいということでしょうか。

【委員B】

アンケートやWSを実施する前に、中身をどうしていくのかということを経験していきながら議論していく必要があるのではないのかということです。

【会長】

委員Bがおっしゃるのは、これからアンケートやWS、いろんな調査を進めて行くうえで、その前に環境基本計画としてこんなことをビジョンとして考えているからこんな調査をする、こんなアンケートをするというような組み立ての方が良いのではないのかということですが、いかがですか。

【事務局】

事務局としてはアンケートやWS等を踏まえて第2回の審議会を開催して、委員の意見をいただいて骨子をつくっていくという予定でしたが、アンケート調査前に骨子の作成をした方がよいということであれば、意見交換をしながら方向を定めていきたいと考えます。

【委員B】

まだ資料のアンケートの項目も全部目を通していませんが、SDGsすら国民、市民の何割が知っているか分からない、おそらく4割以下だと思います。

【副会長】

アンケート原稿はボリュームが多く、どこまで回収できるのかと思います。コンサルが作成されたと思いますが、これで項目全てを網羅しているのでしょうか。

【事務局】

網羅していると考えています。市民、事業者、中学生用の3種類があるのでボリュームが多いように見えますが、市民用は12ページ、事業者用は8ページ、中学生用は4ページとなっています。市民用が多いのは地球温暖化の計画も作る必要があり、その関連で多めになっていますが、説明文や解説も入って12ページ構成としています。おそらく40%近くは回収できるものと想定しています。

【会長】

アンケートの話になっていきますが、先ほどのB委員の意見については、A3の資料1でいうと「3. 計画見直しのポイント」、それと次に説明がある資料2の「1 計画策定の背景と目的」のところが、現時点で事務局が考える視点だと思われ、アンケートについてもそのあたりを狙って作成されていると思いますので、資料2の『計画の基本的事項について』を説明していただきたい。また、資料3の『アンケート調査』についても中身についての細かい説明は時間がないと思いますが、狙いや設問設定の考え方を説明していただきたい。

2) 計画の基本的事項について

3) アンケート調査について

《事務局説明》

【会長】

2)、3)まとめて説明いただきましたが、何か意見はありますか。

【委員B】

私の思っていることとそう大きな違いはありませんが、例えばアンケートを5ページの計画構成にどういう風に利用してどのようにまとめていくのか、そのあたりがポイントではないかと思えます。資料の内容は概ね理解できましたし、私の意見を先に言い過ぎたかとも思いますが、こういうアンケートの設問の中身については、専門的なものはあるかもしれませんが、審議会委員の意見も聞いてまとめるということが大切だと思います。

【会長】

形はどうか分かりませんが、本年度の各種調査の結果を踏まえた議論の方向によっては、3ページ以降が変わるかもしれません。議論の材料としてこれで十分なのか、調査の中身としてこれで良いのかということは今の段階で考えておかないといけません。あまり網羅的なアンケートはどうかと思いますし、アンケートは恣意的なところもあるかもしれません。

計画スケジュールの中で、検討材料としてアンケート調査とWSの他に、あと「環境の現況調査」、「温室効果ガス排出量の算定」、「現行計画の進捗評価」がありますが、「現行計画の進捗評価」は皆さんに審議いただいている年次報告書であり、「温室効果ガス排出量の算定」は規定どおり計算すればよいと思いますが、「環境の現況調査」とは資料調査という説明でしたが、具体的には何をすることを想定しておられますか。

【事務局】

現行計画を見ていただくと分かりやすいですが、例えば、人口、世帯数の推移とか、土地利用、産業がどう変化しているかというような統計的な数値の更新をします。現行計画の7～26ページまでを、統計的資料で整理していく作業になります。

【会長】

計画のフレーム的なところの更新を行うということですか。

【副会長】

WSを開催する頃にはアンケートの結果が出ていると思うので、WSの前にもう一回審議会を開いてWSの中身を検討するような方法もあります。開催しないのであれば結果を委員に送付してもらって、委員も積極的にWSに参加して市民の声を聴くというようなこともあるのではないのでしょうか。アンケートの結果やWSの意見など、どの段階で委員に周知徹底するかということだと思います。

【事務局】

WSを開催するまでにアンケートのクロス集計等までの分析は難しいと思いますが、速報的なまとめをした段階で審議会を開催できるようであれば再度開催して、WSにつなげるようなスケジュールにできるかどうか検討します。市民の意見を聞くためにはWSは重要な場であり、それ

に向けた方策や何をまとめていくのかということもアンケートから出てくるものもあると思いますので、日程調整は難しいですが、可能な限りWSの前に集まっていただき、よりよいWSになるようにしていきたいと考えます。

【副会長】

今の予定では少しタイトなところはありますが、アンケートの実施を少し早めるとか、WSの時期を2月まで延ばすとか、検討願います。

【会長】

WSの内容については、アンケートもそうですが、ファシリテーターによって結果が変わってくるので、どういう意図で、どういうメンバーで、何を材料にどうするのかは練っておいた方が良いでしょう。検討いただきたい。

WSは委員も参加するという方向で良かったでしょうか。

【事務局】

日程にもよりますので、時間が合えば参加いただくということでお願いします。1月のWSを少し延ばすということも考えながらWSの組み立てをしていきたいと思っています。

また、アンケートについても早く実施した方が良いでしょう。聞いておいた方が良いでしょう。項目やこうした方がよいということがあれば、ご意見いただければと思いますので、事務局に連絡をお願いします。

【会長】

前回の基本計画のアンケートと比較して、経年的に追える設問はどれでしょうか。

【事務局】

市民用のアンケートの場合、8ページの行動内容のところや9ページの地域環境の満足度のところになります。事業者用は現行計画では行っていませんので、比較はできません。

【会長】

中学生アンケートは前回していますか。

【事務局】

実施しています。

【会長】

特に、環境問題の将来的な改善を考えた時に、子供世代がどういう意識を持っているのかは大事なところで、中学生アンケートで前回と比べることができればいいと考えます。

【事務局】

現行計画の中学生アンケートが、意識を聞くような設問になっておらず、市民アンケートと同じ設問であり、なかなか比較ができない状況です。

【会長】

できないなら仕方ありませんが。

【副会長】

中学生ぐらいになるとタイムリーに状況を見ているので、最後の自由意見欄もしっかり書いてくれると思います。

【委員C】

中学生だけでなく小学生も高学年ならしっかりした考えを持っているのでアンケートをとっ

てもよいと思いますが。

【事務局】

子どもたちの意見を聞くことに意義があり、全員対象は無理にしても、環境学習をしている学年の子どもたちに聞くなど、対応が可能か再度検討します。

【委員D】

10ページの4)や5)のところで使われている「地域」について、4町のことか、南丹市全域のことなのか少し迷うように思いますが。

【事務局】

意図としては旧町を考えておりますが、それ以外の地域について書いてもらっても良いと考えています。

【委員D】

回答欄が3箇所になっているが、関心のある人ならもっと書くように思います。

【事務局】

ページ数が増えて厚くなると回収率が下がるという懸念もあるので3箇所ずつにしていますが、様式について工夫してみます。

【会長】

集計としては、地図上にここ何件など落としたものができるのですか。

【事務局】

旧町単位で集計することになると思います。

【委員D】

サンプリングや地域意識の違いで、偏りが出てくるかもしれませんが。

【事務局】

WS開催時に、アンケートで出てきた地域の良いところ、改善点などを地図上に落とす形で活用出来たらと思っています。

【会長】

WSの年齢層はどのように考えていますか。

【事務局】

先日の子ども議会を見て、中学生を積極的にということは考えている。中学生だけの参加は難しいと思いますが、将来を背負う世代には参加してほしいと考えています。

【副会長】

アンケートの最後のページの文章について、市民用と事業用、中学用で違いますが。

【事務局】

表現が一緒になるよう修正します。

【委員C】

ここで出なかった意見もあると思うので、あと一週間ぐらい待っていただきたい。

【事務局】

何か意見があれば事務局に連絡いただけたらと思います。

【会長】

全体的に何か言い足りないようなことがあればお願いしたいが、ないようなので、後は事務

局にお返しします。

4 その他

【事務局】

南丹市環境審議会の委員について、以前は小中学校の校長会から1名委員をお願いしていたが、環境施策は専門性が高く、教育とはマッチしないということで現在は外れている。今後、学校教育との連携は欠かせないということで、もう一度、小中学校の校長会から1名委員をお願いしたいと考えていますがいかがでしょうか。

【全員】

異議なし

【事務局】

では、教育部局と詰めて、お願いしていきます。

【委員A】

規程上、定数の問題はありませんか。

【事務局】

問題はありません。

【委員B】

委員Dとも一緒に、南丹保健所を窓口として、長年、小学校の出前教室をやってきたが、開催要望は減ってきている。学校の環境教育や社会教育のステージが変わってきているように感じられるので、そのあたりで、環境に関心のある先生に出てもらおうとメリットがあるように思います。

【事務局】

環境教育は、計画の中でも重要な柱になると思うので、強くお願いしていきたいと考えます。

【副会長】

美山で年2回、環境パトロールに校長先生も参加しているが、ゴミの量を見て驚いており、子どもたちの環境教育に活かしたいとの意見も出ていますので、是非参画をお願いしたいと考えます。

5 閉会

副会長あいさつ